



# 礎 ISHIZUE

発行責任者: 青年部部长 吉田 将史  
発行: 三春町商工会青年部  
総務委員会  
委員長: 村上 健  
発行日: 平成26年3月31日

デザイン/校正: Polsys「ポリシス」  
印刷: 土棚印刷



三春町商工会青年部  
部長 吉田 将史

今回の執筆にあたり、本誌が創刊(昭和60年3月発行)から記念すべき第30号を迎えることと知り、事務局に保管されていた過去の「礎」全号を閲読しました。白黒から2色、フルカラー印刷へと変わる装いや、若き日の先輩方の雄姿はとても感慨深く、号を重ねることに支えとなる強固な「礎(いしずえ)」を感じ取りました。何より「礎」発行をはじめ、これまで青年部活動にご尽力・ご協力いただいた多くの方々に深く感謝と敬意を申し上げます。

自己の意見を述べ、かつ他人の考えを聞き、これを基に一層青年部活動を充実あるものとする。これが「礎」創刊の趣旨です。過去の「礎」を通して、当時の青年部員の皆様が商工業者として「町づくり」「商店街づくり」と向き合い、時代の波と戦い、経済情勢を考えて活動されてきたこと、また現在進行形の課題が多く残されている現実を目の当たりにしました。我々ひとりひとりが考えをしつかりと携え、そして行動に移していかなければならないという使命感を痛感し、身の引き締まる思いを感じました。

現在の青年部員数(賛助会員含む)は、昨年3名の新加入により、27人となりました。昭和60年の部員数約80名から比べると、減少の一途は言うまでもありません。しかしながら、ひとりひとりが全ての事業において大切な原動力であり、わたし自身素晴らしい部員に支えられていると実感しております。平成25年度は新事業も取り入れ、試行錯誤しながら一丸となって取り組んでまいりました。今後も「礎」創刊時の言葉を柱とし、後進の我が青年部として交流、資質向上、地域振興、社会貢献を目指し、活気と魅力ある町づくり、商店街づくりに寄与していきたいと考えております。何卒、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## NEW 青年部広報紙 「それいけ!青年部!」を発行

紙面内容  
イベントPR  
事業活動紹介  
青年部員コラム  
四コマ漫画など



「それいけ!青年部!」

さらなる飛躍を目指すタイトルを命名し、当青年部で新たな広報紙を発行しました。内容は参加型イベントのPR、事業活動の紹介、ユーモアを交えた雑談や四コマ漫画、部員の考えや経験を綴ったコラムなど多様多様。紙面を通して、皆様に青年部をより身近に感じてもらいたく、発行にいたしました。

創刊の平成25年度に発行した回数は2回。紙面のメインとして新規事業「陶芸教室」の参加者を募ったほか、三春秋まつりの会場内に移動販売車の「うまいもの」を集めた新企画をPRしました。

広報紙は新聞に折り込みます。少ない人数でこだわりを持って制作しているため、発行頻度は少なくなっておりますが、ぜひ次号をお楽しみに!



移動販売車が集合した秋まつり青年部エリア



陶芸を楽しむ参加者



### 部員紹介一覧

部長	吉田 将史	(有)グリーンフロント
副部长	阿部 研次	(有)阿部材木店
副部长	宗像 俊樹	(有)宗像清商店
庶務・会計	橋本 佳知	(株)三春集報社
常任委員	村上 健	(有)むらかみ
常任委員	本田 康朗	(有)本田電設(株)
常任委員	幕田 祐二	(有)三ツ美旅館
常任委員	伊藤 努	(有)伊藤理容所
監査委員	大槻 智明	(有)三春松葉屋パン店
監査委員	今泉 進一	(有)今泉建築
部員	渡辺 恭一	渡辺書店
部員	市川 和照	和光堂整体院
部員	柴原 辰夫	(有)中山商事
部員	千葉 剛	ヘアフォリッジ
部員	佐藤 正太郎	佐藤板金店
部員	壁寸 豊	壁寸建築
部員	佐藤 久嗣	アック・モールド(有)
部員	浜田 雅博	浜田薬局
部員	石山 幸一郎	(有)大音
部員	福原 有吾	(株)ドン・ミゲル
部員	齊藤 英晃	(株)齊藤組
部員	椿 雄太	(株)互省製作所
部員	佐久間 朝敏	(有)佐久間製材工場
部員	村田 将一	(有)なかや商店
【賛助会員】		
賛助会員	黒羽 雄一	(有)くろぼ
賛助会員	伊藤 敏幸	伊藤精肉店
賛助会員	三條 亮吉	お食事処三條屋

NEW

# 陶芸教室

7月28日(日)

窯元を持つ三春町の魅力や、手作りによる物の大切さを伝えることを目的に、陶芸教室を旧桜中学校美術室で開催しました。講師は陶芸家の渡辺安里さんと金山忍さん。町内外から多くの方に参加していただき、お皿やカップなど個性豊かな約100点の作品が完成しました。



▲ 作成した約100点のオリジナル作品



▲ 青年部員も陶芸を体験!

## 「馬」の文字を刻印!!

ひだりうま

旧桜中学校に新しく窯が導入され、火入れ第一号の初釜作品。左馬は福を招く縁起の良い文字とされ、これからの成功を願い作品に刻み込みました。「うま」の逆は「まう」→「舞う」

▶ 釉掛けを楽しむ参加者



釉(くすり)掛け体験 8月18日(日)

作品を乾燥・素焼き後、陶器の表面に上薬を付ける“釉掛け”も体験しました。透明、白色、緑色の3色の釉薬を使って色を分け、本焼き後の完成を楽しみにしました。



「まほら」に作品展示 9月26日~10月8日

町民の方々に創作活動の楽しさや感動を届けられるように、完成作品を三春交流館「まほら」に展示しました。!

NEW

# 移動販売車大集合!!

11月9日~10日



秋まつり会場内の青年部エリアで、エンパナーダやなみろ焼きそば、国見バーガーなどの移動販売車8台を揃えた新規事業を実施しました。青年部ブースでは「三春いもコロッケ」も販売。移動販売車を食べ歩くビンゴ形式のスタンプラリーも企画し、食を楽しむ大勢の来場者でにぎわいました。



# 三春秋まつり 湯どうふ食べくらべ大会

11月9日(土)

食べた湯どうふの量を競う恒例事業「湯どうふ食べくらべ大会」を開催しました。京都大会の予選を兼ねた大会で、ツワモノぞろいの約20人が出場。胃袋の限界まで食べ続け、総合優勝者は豆腐8丁を平らげました。



# 京都で観光PR

2月22日(土)

京都大会の「桂文枝の順正ゆどうふ食べくらべ大会」に参加し、パンフレット配布やお酒の試飲提供などを行い三春町をPRしました。

NEW

# イルミネーション設置

点灯期間 12月7日~1月19日

## 冬の街なかイルミネーション

三春町震災復興祈念事業実行委員会から委託を受け、三春町役場前などに約16,000球の電飾の設置作業を行いました。ピンクと白をメインに鮮やかに装飾し、寒さ厳しい冬の町中を温かい光で包み込みました。



▲ 三春町役場前を鮮やかに彩るイルミネーション



▲ 滝桜をかたどった電飾



# 勉強会+レクリエーション

7月8日(月)

▼ 街づくりを学んだ講演会



力ある街づくりのヒントをいただきました。勉強後は温泉やおいしい料理・お酒で、懇親を深めながら日頃の疲れを癒しました。

福島市飯坂温泉の旅館「祭屋湯左衛門」で行いました。勉強会では飯坂温泉旅館協同組合青年部副部長で同旅館社長の柳沼公貴さんに、飯坂温泉の観光振興の取り組みなどについて講演をいただき、魅



▲ 柳沼社長(前列中央)と青年部員

# 清掃・美化活動

## 商工会館内の清掃 6月10日(日)



▲ 感謝を込め清掃に励む部員

「商工会の日」に合わせ、日頃お世話になっている感謝の気持ちを込め、三春町商工会館内の清掃や備品の汚れ落とし作業を行いました。

## ゴミ拾い活動 4月7日(日)



▲ ゴミ拾いに汗を流した部員

春の観光シーズンを前に、気持ち良く街中を散歩してもらうため、町内の空き缶や紙くず、たばこの吸い殻などを丁寧に拾い集めました。

# 第45回 通常総会

4月26日(金)



▲ あいさつする新役員

任期満了に伴う役員改選で、吉田将史部長をはじめとする新役員を選出。今年度の事業計画なども決め、新体制で気持ちを新たにしました。

## 『ふくしま元気!応援CM大賞』 審査会 12月15日(日) に作品展

CM大賞は福島放送の主催で、手作り15秒CMで各市町村の元気・魅力を発信する企画です。当青年部から下記の2作品を出展しました。

総務委員会制作

作品名 三春のグルメ



ピーマンやグルメンチをPRするとともに、「みはるまっち!」の声が耳に残るインパクトあるCMに仕上げました。

企画厚生委員会制作

作品名 三春式(四季)



三春の四季を題材に、パラパラ漫画のCMに仕上げました。下絵作成は宇野澤酒店の宇野澤健夫さんにご協力いただきました。

## 青年部 ボウリング大会 11月3日(日)



▲ 始球式で腕前を披露した吉田部長

家族交流事業の一環で、部員やOB、その家族ら62人の参加をいただきました。今回も熱戦が繰り広げられ、個々のプレーに一喜一憂。歓声や笑い声で盛り上がりました。



▲ 表彰を受けた入賞者

## 三春に 鬼が出た! 2月3日(月)



▲ 鬼につかまれ嫌がる児童



▲ 鬼を追い払った校長先生 (三春小)  
節分の日に合わせ、青年部員が鬼に扮して小学校や幼稚園など12カ所を訪問。毎年恒例となり、鬼の風格も増してきました。子供たちは迫力ある乱入に驚いた様子でしたが、一緒に厄を追い払いました。

## 商工会 青年部 主張発表田村地区大会 1月16日(木)

当青年部から石山幸一郎部員(寿司大音)が出場。青年部活動の取り組みや思い、展望を堂々と主張しました。惜しくも県中大会への切符を逃しましたが、優秀賞を受賞しました。



▲ 健闘を見せた石山部員(左)

主張発表大会の勉強会 12月4日(水)  
石山部員は大会を前に、主張発表全国大会で優秀賞を受賞した押田洋平氏(矢祭町)の講演を受け、文章の構成や訴える話術などを学びました。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	8月	7月	6月	5月	4月														
31日 青年部会報誌「礎いしずえ」第30号発行	22日 「順正ゆとっふ食べくらへ大会」への参加(京都府京都市)	3日 「三春町に鬼が出た」事業	19日 出店「三春だるま市」	17日 臨時総会・新年会 (発表者:石山幸一郎部員)	16日 商工会青年部主張発表田村地区大会 (発表者:石山幸一郎部員)	15日 「ふくしま元気!応援CM大賞」審査会への参加 (2作品出展)	7日 イルミネーション設置作業	27日 忘年会 磐梯熱海温泉	9-10日 出店「三春秋まつり」 湯どっふ食べくらへ大会・移動販売車企画を実施	6日 広報紙「それいけ!青年部!」第2号発行	3日 青年部ボウリング大会	19-20日 出店「商工会うまいもんNo1決定戦」 (会津若松市) 「関地方産業まつり商工祭」への参加協力 (若手県一関市)	24-25日 出店「あぶくま洞・食ッキング・グルメフェスティバル」 (滝根町)	24日 出店「三春温泉まつり」	18日 陶芸教室袖掛け体験(2回目)	15-16日 出店「三春盆踊り」	28日 陶芸教室(1回目)	21-22日 出店「ふくしま復興祭」食のオールスターゲーム (いわき市)	8日 勉強会+レクレーション (飯坂温泉)	7日 広報紙「それいけ!青年部!」創刊号発行	10日 三春町商工会館内の清掃活動	5日 「三春まつり」(時代行列)の有料観覧席販売事業	26日 第45回通常総会	7日 町内ゴミ拾い活動

# 平成25年度 事業報告

# 新入部員

三春町商工会青年部

ようこそ！しくお願ひします



榎 雄太 (33) 北町支部

弊社はねじ製造業で、主に六角穴付ねじ類の開発・製造・販売を行っています。わたしの出身地は神奈川県横浜市で、田村西部工業団地の新工場「さくら工場」立上げに伴い、昨年2月に三春へ引っ越してまいりました。まだ右も左も分からぬ身ですが、いろいろな活動に参加していきます。



佐久間 朝敏 (30) 荒町支部

八島台で製材業を営み、主に受付や配達などを行っています。住宅メーカーなどでの勤務を経て、約2年前に家業に就きました。特技は大学時に学んだ情報工学。趣味は写真で、風景やスナップ写真を撮るのが好きです。三春の力になれるよう頑張っていきます。



村田 将一 (22) 北町支部

北町で味噌製造販売業をしています。専門学校を卒業後、約2年前に帰郷しました。趣味は夏のスケートボードや冬のスノーボード。特技は剣道で、三春武道館で週3回練習に励んでいます。青年部をはじめ色々な活動がありますが、積極的に参加していきます。

## 卒業生のことば



大町支部  
渡辺書店  
渡辺 恭一

若き日のイメージとはほど遠い四十を迎え、青年部を終えるにあたり、今までお世話になりました諸先輩方、関係各位、現役の皆様方に感謝申し上げます。

その後、青年部活動や商工業を取り巻く環境は厳しいものと思いますが、目標を持って一つ一つクリアーして頑張ってください。

われらの故郷三春町、そして一人一人の更なる発展を祈念申し上げまして挨拶といたします。名ばかりの青年部員ではありましたが、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

プライバシー保護

## 編集後記

皆様のおかげで会報「礎」が第30号を迎えることができました。記念にも記憶にも残る「礎」発行に携われることが大変うれしく思います。平成25年度は、新広報紙の発行や陶芸教室など新規事業の活動もあり、あっという間の1年間でした。

震災から3年が過ぎ、まだ以前のように戻っていないように感じます。各地での天災が相次ぎ、三春町でも洪水被害や、記憶に新しい大雪被害。昭和55年に匹敵する大雪だと聞きました。これらの様々な困難を乗り越え、これからも青年部一丸となって頑張っていけます。

総務委員長 村上健

三春町商工会青年部

# 新入部員

募集中

仲間に加わりませんか？

- 三春町商工会の会員事業所で、事業主・後継者の方
- 20歳から40歳までの方

詳しくは三春町商工会まで 0247-62-3523

## 併せて 青年部賛助会員も募集中

対象年齢/ 20歳～ ※男女を問わず入会できます。

当青年部の趣旨に賛同し、事業推進にご協力いただける賛助会員を募集しています。様々な業種の方と交流し、一緒に大好きな三春町を盛り上げていきましょう！